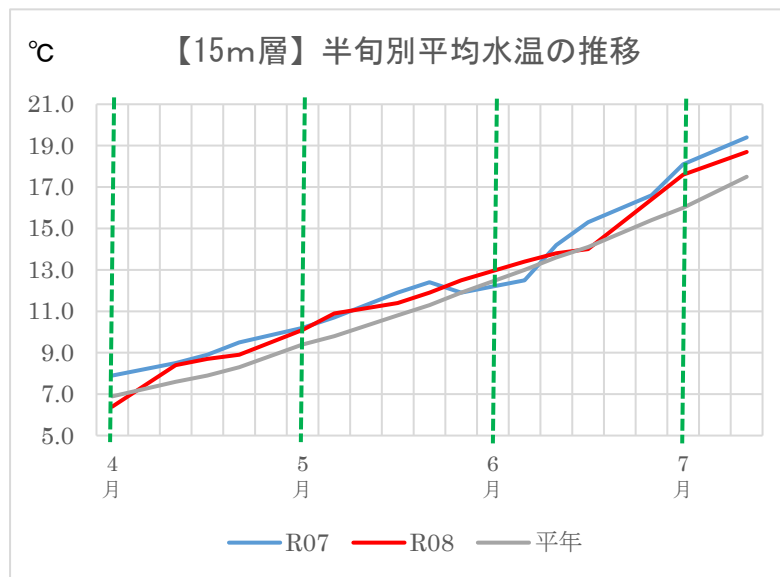


ホタテガイ生産の現状について

1 海水温の状況【7/11～7/14の平均水温】※注1

項 目		1m層	15m層	30m層	底層	備 考
青森ブイ	令和 8 年	21.7℃	18.7℃	17.5℃	15.9℃	
	昨 年 差	0.5℃	▲0.7℃	0.4℃	1.5℃	
	平年差※注2	2.2℃	1.2℃	1.3℃	1.7℃	



2 ホタテガイ生産状況〔市管内（青森市漁協＋後潟漁協）計〕

① 生産量【1月～6月生産量】

項 目	計	内 訳			備 考
		稚貝	半成貝	成貝	
今年【R8】	799.1 トン	16.2 トン	767.5 トン	15.4 トン	
昨年【R7】	975.9 トン	0.9 トン	946.5 トン	28.5 トン	1月～6月
R3～R7 平均	6,088.1 トン	233.9 トン	5,639.3 トン	214.9 トン	1月～6月

② 生産額【1月～6月生産額】

項 目	計	内 訳			備 考
		稚貝	半成貝	成貝	
今年【R8】	215,572 千円	4,585 千円	197,143 千円	13,844 千円	
昨年【R7】	465,502 千円	257 千円	443,973 千円	21,272 千円	1月～6月
R3～R7 平均	1,168,522 千円	45,861 千円	1,046,953 千円	75,708 千円	1月～6月

注 1：7/15 発行「陸奥湾海況情報」No.1607（青森県産業技術センター水産総合研究所）

注 2：平年差：過去 41 年間(1985 年～2025 年)の平均値との差

3 令和 8 年度春季陸奥湾養殖ホタテガイ実態調査

(1) 目的

陸奥湾におけるホタテガイの適正養殖を推進するため、垂下養殖の実態を把握し、今後のへい死等の対策及び生産計画の指針とする。

(2) 調査主体

陸奥湾内各漁業協同組合

(協力：むつ湾漁業振興会、関係市町村、青森県産業技術センター水産総合研究所、県)

(3) 調査期間及び対象

①現地調査（成育状況等）

○調査期間 令和 8 年 5 月 25 日～5 月 28 日（4 日間）

○対 象 貝 令和 7 年産貝（北海道から移入した貝を除く）

○対 象 者 全養殖業者の 5%（10 漁協 40 名）

②間取り調査（保有枚数等）

○調査期間 令和 8 年 5 月 25 日～6 月 11 日

○対 象 貝 令和 6 年産貝、令和 7 年産貝及び令和 8 年産貝

○対 象 者 全養殖業者（10 漁協 825 経営体）

(4) 調査結果（陸奥湾全体の状況）

①成育状況等について

○へい死率は、陸奥湾の平年値（S60～R7）4.8%と比較し、4.7%と平年並み。

○異常貝率は、陸奥湾の平年値 4.3%と比較し、2.0%と平年並み。

○殻長、全重量及び軟体部重量は平年値を下回る。

②親貝保有枚数（令和 8 年 4 月 30 日現在）

○令和 7 年産貝の成貝（親貝）用の保有枚数は 5,185 万枚で、直近 5 年平均の 42%。

＜参考＞ホタテガイ保有枚数（青森市）※4 月 30 日現在

項 目		保有枚数 (万枚)	内訳（万枚）		
			半成貝用	新貝用	成貝用
青 森 市	R8 調査（R7 産貝） ①	9,758	9,545	0	213
	R7 調査（R6 産貝）	6,067	5,709	0	358
	直近 5 年平均 ②	16,243	15,747	0	496
	直近 5 年平均比 ①/②	60.1%	60.6%	—	42.9%

※春季陸奥湾養殖ホタテガイ実態調査結果をもとに試算

(5) 指導事項

- ・現在保有している令和 7 年産貝のうち、異常貝率が低く、収容枚数が少ない貝を成貝用とし、高水温に備えて水温の低い低層へ施設を沈めて安定させ、来年春の産卵後まで保有すること。
- ・ムラサキイガイの付着が多く作業効率が悪くなることから、早めの稚貝採取を心掛け、稚貝採取後は水温の低い下層に養殖施設を沈めて動かさないこと。
- ・高水温や早い潮流の影響に注意した養殖管理を行い、健苗の育成に努めること。

4 令和 8 年度全湾付着稚貝調査

(1) 目的

ホタテガイの付着状況（付着数、大きさ）、その他生物の付着状況を把握し、採苗器の投入時期、間引きや稚貝採取等の開始時期の参考とする。

(2) 調査主体

青森県産業技術センター水産総合研究所

（協力：陸奥湾内各漁業協同組合、関係市町村、県）

(3) 調査期間

- ・第 1 回全湾付着稚貝調査 令和 8 年 5 月 25 日～5 月 26 日
- ・第 2 回全湾付着稚貝調査 令和 8 年 6 月 18 日～6 月 24 日

(4) 調査結果（陸奥湾全体の状況）

①第 1 回全湾付着稚貝調査

○ホタテガイ稚貝の平均付着数は西湾で 861 個／袋、東湾で 2,337 個／袋とそれぞれの平年値（過去 10 年の平均値）62,936 個／袋、360,560 個／袋より極端に少なくなっている。

②第 2 回全湾付着稚貝調査

○ホタテガイ稚貝の平均付着数は西湾で 1,525 個／袋、東湾で 2,914 個／袋と、それぞれの平年値（過去 10 年の平均値）26,638 個／袋、30,815 個／袋より極端に少なくなっている。

<参考>青森市管内の状況

項 目	第 1 回調査	第 2 回調査
R8	384～1,512 個／袋	472～1,016 個／袋
R7	11,392～39,424 個／袋	9,984～30,208 個／袋

(5) 指導事項

①第 1 回全湾付着稚貝調査

- ・採苗器へのホタテガイの付着数が極端に少なく、海域や採苗器によってバラツキが見られ、袋に偏っている場合もある。付着数が少ないため、目合の細かいパールネットを用意し、小さい稚貝も活用できるよう準備すること。

②第 2 回全湾付着稚貝調査

- ・夏季高水温の危険性が高いことを踏まえ、稚貝採取を早めに始め、早めに完了し、体力のある貝をつくるようにすること。